

『岩倉具視関係文書』『岩倉公実記』未収録の初出史料を多く含み  
維新史の定説に変更を迫る新発見史料  
その全貌を完全活字化！

佐々木 克・藤井讓治・三澤 純・谷川 穰 編

# 岩倉具視関係史料

〔全一巻〕

思文閣出版

二〇一三年一月刊行



◆本文組見本(70%縮小)◆



岩倉具視書簡案(上583・(明治6)年(10)月19日)

之迄ハ可相待候へトも何分も御心得被下、速ナル方懸願仕候、今朝御参、朝前参堂可相願置と奉存候処刻々二付以書中申上候、万々御憐察奉願上候、早々敬白

〔明治三年〕  
〔奥封ウ八書〕  
〔副島参議殿〕  
御直展  
福羽美静

389 山口藩脱隊・浮浪取締に付達案 一五五文八二四  
〔鹿児島藩・山口藩 熊本藩〕  
三藩江御達案  
〔岩倉具視〕

近來浮浪之徒并二且山口藩脱退之輩九州路各所ニ潜伏出沒暴行ニ及候ニ就而ハ右捕縛之儀、先般より屢御沙汰「之旨も」有之候処今以搜索を得ず、仍之尚又此度「為」巡察使「誰々日田県江」被指遣候条「於」其「藩も」管内取締向手配者勿論「其他手配り等致シ」時宜二より兵威を以嚴重処置可致候、尤諸事巡察使指揮

二随ヒ進退可有之事  
〔但シ山口藩熊本藩江も同様被仰付候間為心得申達候事〕  
〔注〕明治四年二月、冒頭付箋に「中弁田中不二磨草案 岩倉公加筆 明治三年。」

390 江藤新平書簡 一七五文六〇  
〔家世〕

謹而奉拜啓候、然者先日拜謁仕候節花山院様ノ事楠田江云々被仰下候付、則同人江申入候処、昨年来痔疾ニ而漸ク参朝丈押て仕居候次第二付、貴人之前二長座講義何分ニも難出来御不敬之事も奉恐入候次第、尤只今療治罷在候間快方次第二ハ可応命ニ、因而夫迄之処ハ花山院様同人宅へ毎夕御入被下候得者御相手可申上と申間候、右者拜謁可申上と奉存大遅延不得止書中申上候、何分ニも御返事遅延之段奉恐入候、且又御潤色草案小子之処ハ夫ノミ取懸居来ル廿三日比迄二ハ清書迄成就可仕奉存候、是又序言上仕候、早々頓首再拜

255

◆発信人名別 文書点数 書簡・意見書・覚書◆

- |          |            |
|----------|------------|
| 伊藤博文(66) | 井上 馨(7)    |
| 井上 毅(6)  | 岩倉具視(100)  |
| 江藤新平(8)  | 嵯峨実愛(12)   |
| 大木喬任(9)  | 大久保利通(198) |
| 大村益次郎(4) | 勝 海舟(3)    |
| 木戸孝允(81) | 黒田清隆(5)    |
| 後藤象二郎(5) | 西郷隆盛(3)    |
| 三条実美(43) | 島津久光(4)    |
| 副島種臣(6)  | 伊達宗城(6)    |
| 寺島宗則(6)  | 徳川慶勝(3)    |
| 徳川慶喜(9)  | 徳大寺実則(14)  |
| 中御門経之(5) | 中山忠能(5)    |
| 鍋島直正(7)  | 東久世通禧(4)   |
| 広沢真臣(11) | 福岡孝弟(8)    |
| 松平慶永(20) | 山内豊信(6)    |
| 山県有朋(3)  | 由利公正(6)    |
- ほか

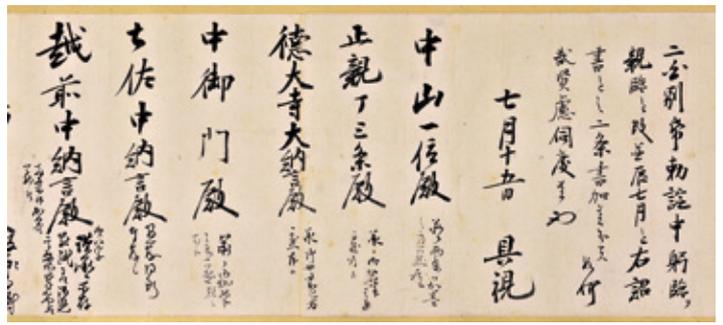
◆編年目録組見本(70%縮小)◆

年月日	文書名	差出	宛先	文書番号
(慶応4)・7・15	岩倉具視伺書・回状	岩倉具視	嵯峨実愛 徳大寺実則 中御門経之 山内豊信 松平慶永 伊達宗城 後藤象二郎 福岡孝弟 広沢真臣 木戸孝允 横井小楠 岩下方平 大木喬任	下72
(慶応4)・7・16	大久保利通書簡	大久保利通	岩倉具視	上652
(慶応4)・7・16	岩倉具視書簡	岩倉具視	福岡孝弟	下73
(慶応4)・7・16	千種有文書簡	千種有文	岩倉具視	下761
(慶応4)・7・17	大木喬任書簡	大木喬任	木戸孝允	上786
慶応4・7・18	池田慶徳願書	池田慶徳	弁事	下716
(慶応4)・7・19	小松宮嘉彰書簡	小松宮嘉彰	岩倉具視	上5
(慶応4)・7・19	軍務官答書	軍務官	行政官	上184
(慶応4)・7・19	三条実美・烏丸光徳意見書	三条実美 烏丸光徳	岩倉具視	下106
(慶応4)・7・20	海江田信義願書	海江田信義		上308
(慶応4)・7・20	三宮義胤書簡	三宮義胤		上431
(慶応4)・7・21	三条実美書簡	三条実美	岩倉具視	下107
(慶応4)・7・24	橋本実梁書簡	橋本実梁	弁事	上110
(慶応4)・7・29	木戸孝允書簡	木戸孝允	大木喬任	下105
(慶応4)・7	立入経頼・多忠寿申立書	立入経頼 多忠寿		上153
(慶応4)・7	徳川家達・松平齐民請書	徳川家達 松平齐民		上168
(慶応4)・7	長州藩届書	寺内通徳 木梨彦右衛門	弁事御役所	上194
(慶応4)・(7)	東京奠都の詔副文案	伊達宗城		上249
(慶応4)・7	由利公正意見書	由利公正		上352
(慶応4)・7	東京奠都の詔書案			下70

19

◆構成◆

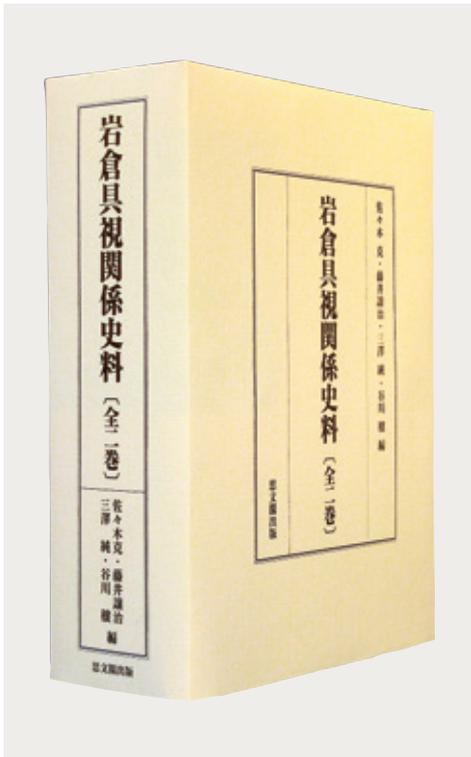
- 上巻
  - カラー口絵(4頁)
  - 細目次
  - 本文
  - 下巻
  - カラー口絵(4頁)
  - 細目次
  - 本文
  - 解題
  - 細目次
  - 本文
  - 解題
- 『岩倉具視関係史料』の史料価値  
『岩倉具視関係史料』の伝来について  
『岩倉具視関係史料』の魅力  
二つの事例から  
たまごな石倉像へ  
たごな石倉との交差
- (佐々木克)  
(藤井讓治)  
(三澤 純)  
(谷川 穰)



岩倉具視伺書・回状(下71・(慶応4)年7月15日)

## ◆本書の特色◆

- ◎憲政資料室所蔵文書・対岳文庫所蔵文書・内閣文庫所蔵文書に次ぐ、第四の岩倉具視関係文書群
- ◎『岩倉公実記』編纂時に利用されたものの最も主要な部分で、その後大阪の質商に売却されたもので、現在は海の見える杜美術館（広島県廿日市市）所蔵
- ◎一七二〇点の文書が二七三巻に成巻されている（ごく一部は未成巻）
- ◎東京奠都のいきさつを示す史料や、閣議の議案や決議の過程がわかる史料など、これまでに他の史料集などで紹介されていない未刊行書簡や書類が多数
- ◎原本校正を綿密に行い完全活字化
- ◎人名・年代については、可能な限り考証を加えた上で傍注を付した



## ◆編者◆

- 佐々木 克（京都大学名誉教授）  
 藤井 讓治（京都大学名誉教授）  
 三澤 純（熊本大学准教授）  
 谷川 穰（京都大学准教授）

## 岩倉具視関係史料 [全2巻]

A5判・クロス装・セットケース入り・総1096頁

2013年1月刊行予定

定価 25,200円（税5%込）

ISBN978-4-7842-1659-8

### 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 TEL.075-751-1781/FAX.075-752-0723  
 URL <http://www.shibunkaku.co.jp/> e-mail: [pub@shibunkaku.co.jp](mailto:pub@shibunkaku.co.jp)

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	岩倉具視関係史料 [全2巻]		本体24,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1659-8
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
				本書HPのQRコード	書店番線印